

平成30年度活動方針

【基本方針】

情報技術分科会、電子技術分科会、メカトロニクス分科会とも各公設試間の情報交換や連携体勢の構築などで有用な成果が得られている。今後とも、情報交換や連携体制のさらなる強化を進め、中小企業に質の高い支援を実施し、全国・地域活性化を図ることを目標とする。この活動のためには、公設試の人員や資金の不足といったことが大きな課題となっており、競争的資金の獲得体勢の充実や中小企業支援のための予算の確保などが望まれている。部会や分科会内での連携に加え、産技連としての組織的な取り組みなどを通して、この課題解決に向けて努力する。

- 情報技術分科会では、30年度も引き続き、3研究会体制での活動を続けて行く。また、各研究会ともより効果的な運営方法に関する議論を深め、活性化を目指す予定である。
- 電子技術分科会では、30年度も引き続き実装・信頼性技術研究会と高機能材料・デバイス研究会で活動を行っていく。特に、高い信頼性をもった国内製品の開発のための製造技術、評価技術について、企業のニーズに応じた技術開発を目指す。
- メカトロニクス分科会は、これまでと同様に日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会と連携して、地域交流ワークショップを開催予定である。メンバーのIoTやAI、ロボット等の新技術活用への期待も高く、製造プロセス部会において30年度から新設されるIoTものづくり分科会や情報技術分科会とも情報共有しつつ、地域課題に対応することを目指す。

【重点活動】

- 情報技術分科会 組込み技術研究会では、技術研究会を福島県で開催する。
- 情報技術分科会 情報通信研究会では、秋田県が幹事県を担当して、開催する。
- 情報技術分科会 音・振動研究会では研究会を神奈川県で開催する。
- 電子技術分科会としては、各公設試の研究開発、技術支援の事例について情報を共有する。また、企業における実際の開発現場、製造現場の状況把握のため、企業見学等を実施し、情報収集を図っていく。また、参加者の減少が著しい分科会の活性化を図るための議論を進めていくことを確認した。
- メカトロニクス分科会では、第14回地域交流ワークショップを北九州国際コンベンションゾーンで開催し、研究に関する苦勞、苦心、工夫などの泥臭いことも含めて、成功、失敗にとらわれず情報共有を進めていく。